

R5 学校教育自己診断 横断比較(R5.12)

●R4結果の横断比較で10%以上差のある評価

●変更、追加

●R5結果の横断比較で10%以上差のある評価

斜体字●経営計画の評価指標となっている項目、数字は目標数値(%)

数 ●R5「わからない」が20%以上

保護者

R5 / R4

児童生徒

R5 / R4

教職員

R5 / R4

太枠内は必ず加える項目(その内、明朝体の項目は3者の評価を比較するため本校が追加したもの)

		No.		%		No.		%		No.		%	%
学校組織(教)										1	学校の教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	90.1%	96.4
学校に対する意識(保・子)	1	子どもは楽しく学校に通っている。	89.2%	89.2	1	学校へ行くのが楽しい。(イラスト1)同じ ~か。	85.6%	77.6					
学習指導(保)、教育活動の改善(教)	3	授業は子どもたちが楽しくわかりやすいように工夫されている。	90.7%	89.2	3	先生は私たちがよくわかるように教えてくれる。(イラスト3)授業は楽しくわかりやすいですか。	92.8%	87.9	3	年間の学習指導計画や、指導内容について、日常的に各部、学年、教科、グループ等で話し合い、児童生徒の実態に合わせて、適宜指導内容や指導方法の工夫・改善を行っている。	90.1%	94.9	
★進路指導(保・子・教)	⑨	学校は、将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	65.4%	69.4	11	将来の進路や生き方、仕事について考える機会がある。(イラスト8)大きくなったときのことを勉強することがあります。	85.0%	77.6	11	児童生徒が将来の進路や生き方について考える機会を設けたり、一人ひとりが興味・関心・適性に応じた進路選択ができるように丁寧な指導を行ったりしている。	83.8%	86.9	
★いじめ(保・子・教)	⑧	いじめについて子どもが困っていることがあれば、学校に気軽に相談できる。(文言変更 R4:学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。)	72.8%	58.6	10	先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。(イラスト5)先生はいじめなど困っていることがあれば助けてくれますか。 <u>90%以上</u>	81.0%	72.7	10	いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	88.0%	89.8	
教育相談(子・教)					6	困ったことや、悩みがあるときに、気軽に相談することができる先生がいる。(イラスト4)同じ ~ますか。	79.5%	76.4	6	児童生徒や保護者が学級担任以外の教職員とも相談できる体制が整っている。	83.1%	86.1	
道徳教育・人権教育(保・子)	6	学校は、子どもの発達段階や実態に応じて生命を大切にできる心や、社会ルールを守る態度を育てようとしている。	90.4%	86.7	8	命の大切さや、社会のルールについて学習することがある。(イラスト7)学校や社会でのルール(やくそく)を勉強することがあります。	90.8%	84.2	8	児童生徒の発達段階や実態に応じて、生命の大切さや社会のルールについて、学ぶ機会をつくっている。	93.0%	94.2	
特別活動、学校行事など(子・教)	11	体育祭や学校祭、校外学習、修学旅行などの行事は、子どもたちが楽しめるように工夫されている。	91.4%	92.9	12	校外学習や体育祭、学校祭、宿泊学習などの学校行事は楽しい。(イラスト9)同じ ~ですか。	88.9%	86.1	12	体育祭や学校祭、校外学習、修学旅行などの学校行事が児童生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	91.5%	97.1	
★情報提供(保・教)	10	学校は、進路情報や地域情報、その他の教育情報について、提供の努力をしている。	79.1%	84.6					19	教育活動に必要な情報について、児童生徒、保護者や地域への周知に努めている。	83.8%	87.6	
学校教育への参画(保)	17	学校の授業参観や懇談会(学年/個人)に参加したことがある。	93.4%	91									
★児童生徒1人1台端末(子)	⑫	学校はパソコンやタブレットを使ってわかりやすい授業を行っている。	64.5%	59.3	13	先生はパソコンやタブレットを使ってわかりやすい授業を行っている。(イラスト10)同じ ~ますか。	87.5%	89.7	13	教材提示のツールとしてパソコンやタブレットを活用している。 <u>100%</u>	93.0%	94.2	
									14	児童生徒がタブレットを使用する授業を実施、または計画している。	81.7%	85.4	
★児童生徒理解に関するもの(保・子・教)	2	学校は、子どもの人権を大切に教育活動を行っている。 <u>90%以上</u> (文言変更 R4:学校は、子どもの障がいについてよく理解している。)	90.4%	88	2	先生は、一人ひとりのことを大切に、よく理解してくれている。(イラスト2)先生は、一人ひとりのことを大切にわかってくれていますか。★自己肯定感(文言変更 R4:先生は、一人ひとりのことをよく理解してくれている。)	87.6%	72.2	2	児童生徒の人権を十分に尊重して、 <u>カウンセリングマインドに基づく教育活動</u> を行っている。 <u>90%以上</u> (文言変更 R4:児童生徒の人権を十分に尊重して、日常の教育活動を行っている。)	96.5%	97.8	

★学習評価	4	学習評価では、知識・技能の習得状況のみに偏ることなく、子どもが考えて表現したり、学習に意欲的に参加したりする姿などがバランスよく評価されている。	86.0%	87	4	先生は、自分が頑張ったことを認めてくれる。 ★自己肯定感	87.2%	82.2	4	学習評価では3観点を意識し、バランスよく評価している。 <u>95%以上</u>	90.8%	89.8
家庭との連携 関係機関との連携①	5	学校は、家庭との意思疎通を適切に行い、子どもの学校生活の様子を懇談や連絡帳、プリント、電話などによって知ることができる。	95.7%	96.9					5	生活指導において、家庭や関連機関との連携ができている。	93.0%	96.4
★防災①	16	学校からは、地震や台風などの場合の対応について、家庭に知らされている。	97.3%	97.5	7	地震や火災などが起こった時に、どうしたらよいかを覚えてもらっている。(イラスト6)地震や火事などが起きた時、どうしたらよいかを覚えてもらっていますか。	92.8%	86.7	7	学校の教育活動全般において、安全指導・防災教育を行っている。	93.0%	91.2
★国際理解、環境、暮らし	7	学校は、子どもの発達段階や実態に応じて環境、国際理解、自分たちの暮らしなどについて学ぶ機会を作っている。	74.4%	72.5	9	世界の国々や、環境、私たちの暮らしについて、学習することがある。	83.5%	68.9	9	児童生徒の発達段階や実態に応じて、環境、国際理解、自分たちの暮らしなどについて、教育活動に取り入れている。	83.8%	77.4
☆給食	13	給食の食材や献立は、配慮・工夫されている。	85.0%	86.4	14	給食の献立は工夫されていて、おいしく食べられる。	92.3%	80	15	給食の食材や献立は、配慮・工夫されている。	95.1%	94.9
教員連携①	14	教職員はチームワークよく教育活動に取り組んでいる。	77.7%	79.9					17	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われている。 (文言変更 R4:各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能している。)	71.1%	76.6
★学校運営									16	学校運営に、教職員の意見が反映されている。 (文言変更 R4:学校運営に、分掌部会や学部会、学年会などの会議の内容や教職員の意見が反映されている。)	69.7%	72.3

R5 学校教育自己診断 横断比較(R5.12)

●R4結果の横断比較で10%以上差のある評価

●変更、追加

■R5結果の横断比較で10%以上差のある評価

斜体字●経営計画の評価指標となっている項目、数字は目標数値(%)

数 ●R5「わからない」が20%以上

保護者		R5 / R4		児童生徒		R5 / R4		教職員		R5 / R4	
学習環境	15	摂津支援学校の子どもたちにとって、教室等のホワイトボードや掲示物、作品展示は見やすく整理整頓されている。	87.4% / 87.7	15	教室等のホワイトボードや掲示物、作品展示は見やすく整理整頓されている。	87.2% / 78.9	18	知的障がい支援学校として、教室等のホワイトボードや掲示物、作品展示は見やすく整理整頓され、清掃は行き届いている。	83.1% / 83.2		
★個人情報	20	学校は、子どものプライバシーや個人情報の取扱いに適切に配慮している。	89.0% / 87.3				20	児童生徒の個人情報に関する管理システムが確立され、適切に取り扱われている。	88.7% / 92		
★HP,メール	22	情報提供の手段として、学校のホームページ（ブログ）やメール配信サービスが活用されている。	93.4% / 90.4				22	情報提供の手段として、学校のホームページ（ブログ）やメール配信サービスが活用されている。	90.8% / 88.3		
保護者のニーズ② 個別の支援、指導、自立活動	23	個別の教育支援計画や個別の指導計画（自立活動・各教科等）は、本人保護者のニーズを踏まえて作成され、内容について知る機会が設定されている。	94.7% / 95.1				23	個別の教育支援計画や個別の指導計画（自立活動・各教科等）について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成し、保護者に開示・説明している。	97.2% / 97.8		
★PTA活動	21	学校では、PTA活動が活発に行われている。	80.7% / 75.3				21	教職員はPTA活動について理解している。 (文言変更 R4：教職員はPTA活動に協力している。)	67.6% / 65		
【新規】交流①	18	学校は、子どもが他の学年や学部と交流する機会をつくっている。	76.4% /	16	他の学年や学部と交流することがある。	79.5% /	25	きょうだい学年交流を活用して、児童生徒が先輩の良いところを知り、先輩は後輩の良い手本となるように取り組んでいる。	79.6% /		
★交流②	19	学校は、子どもが他の学校や地域の人と交流する機会をつくっている。	66.1% / 59.6	17	授業や行事で近くの学校や地域の人と交流することがある。	59.0% / 48.9	26	近隣の学校や地域の人との交流の機会を設け、教育活動に生かしている。	73.9% / 67.9		
相談	R5：23項目（-3）		84.0% / 83.3	5	先生には、自分の気持ちを言ったり相談したりできる。	70.9% / 68.9					
★校内支援①				R5：17項目（-2）		85.2% / 78.4	33	虐待の未然防止のために、日頃より児童生徒の変化に気づくよう努めている。	95.8% / 97.8		
【新規】★校内支援②							34	不登校児童生徒について、学部内で情報共有されている。	93.0% /		
★防災②							24	事故、事件、災害等に対して迅速かつ適切な対処ができるよう、役割分担が明確化されている。	88.7% / 89.1		
研修①							27	校内研修が計画的に実施され、教育実践に役立っている。	88.0% / 83.2		
人材育成							28	初任者等、経験の少ない教職員を育成するために学校全体で育成する体制がとれている。	76.1% / 76.6		
★授業力向上							29	チームティーチングにおいて、サブの教員から主担任教員へフィードバックされている。 75%以上	72.5% / 68.6		
研修②							30	研修・研究に参加した成果を、学年、教科、分掌等、必要な教職員間で共有している。	71.1% / 73.7		
(R3~R5は継続) 専門性							31	支援教育の専門性を高めるために自主的に講習会等に参加したり、資格を取得したりするなど、知識・技能・教養を向上させる努力をしている。	72.5% / 80.3		
(R3~R5は継続) ヒヤリハット						経営計画からは削除	32	必要な場面でヒヤリハットを迅速に報告するように心がけ、また、ヒヤリハットの報告をもとに、指導体制・方法を振り返り、安全・安心な教育活動に役立っている。	90.8% / 93.4		

R5：34項目（-5） 86.9% / 85.7

☆食に関する指導の状況調査票にて、学校評価での食育の評価の設定の有無を問う項目があるため削除しない